

受講料
無料

震災とコロナ禍に 向き合う映画の力



上映作品

東北の力 文化の力

岡崎孝監督
(2022年7月、99分、初公開)

東日本大震災からの復興を願って山形市内の高校生などが作った傘福、被災者の心に寄り添う「青い赤べこ」(福島県西会津町)、仮設住宅だった建物を当時のまま見学したり宿泊できる体験館(岩手県陸前高田市)…。東北各地でそれに携わる人たちの声に耳を傾ける一方、昔から地域を疫病などの侵入から守ってきた「かしま様」信仰(秋田県湯沢市)、さらに仙台防災未来フォーラム参加団体の多彩なアイデアなどを取り上げる。青森市の三内丸山遺跡に象徴される縄文文化に始まる東北人の精神は、きっと震災やコロナ禍との闘いを粘り強く生き抜く力となるだろう。そんな希望を込めて、この映画は完成した。



岡崎孝監督プロフィール

山形国際ドキュメンタリー映画祭2011の東日本大震災復興支援プロジェクトとともにあるCinema with Usで上映された『私たちにできなかったこと できなかったこと』がデビュー作。第4作『防災やりたい!彼女たち』は渋谷BOSAI Fes'(東京都渋谷区主催)などで公開された。

この2作品は、山形国際ドキュメンタリー映画祭311ドキュメンタリーフィルムアーカイブに登録されている。最新作の『東北の力 文化の力』は、『平成から令和への道すがら、私が見たものは…』『山形でカミュと一緒にアマビエに祈る』と共に、コロナ禍に焦点を当てた三部作の一つでもある。山形市在住。

※マスクの着用をお願いいたします。また、当日発熱や風邪の症状がある場合は受講をお控えください。

※新型コロナウイルスの感染拡大状況等により、講座が中止または延期となる場合がございます。

その際は、市ホームページでお知らせするとともに、申込者にはお電話でご連絡いたします。

映画鑑賞後、受講者と主催者が意見交換し、
震災とコロナ禍に向き合うヒントを探る

日時

2022年8月28日(日)
午後1時半～3時半

会場

山形市男女共同参画センター
「ファーラ」5階視聴覚室

山形市城西町2-2-22 山形市総合福祉センター内

申込み

山形市男女共同参画センター「ファーラ」

TEL.023(645)8077

(日曜・祝日を除く毎日9時～17時15分)

受付開始8月1日より

対象

- 山形市に在住・在勤・在学および
※連携中枢都市圏の市町に在住の方 先着40名(受講される方のお名前、住所、電話番号をお伺いします)

※連携中枢都市圏とは…山形市、寒河江市、上山市、村山市、天童市、東根市、尾花沢市、山辺町、中山町、河北町、西川町、朝日町、大江町、大石田町で締結した施設の相互利用などの連携事業です。

「ファーラ」は山形市が運営している公的施設です。広報やまがたや山形市のホームページに各種事業を随時掲載しています。また、個人情報適切に管理し、講座事務及び感染症対策の目的にのみ使用します。なお、当該施設利用者から新型コロナウイルスの感染が確認された場合等、必要に応じていただいた個人情報を保健所等に提供する場合がありますので、あらかじめご了承ください。